



大樹

岩田小学校だより No.4

令和元年5月30日

学校教育目標

「笑顔いっぱい 夢いっぱい」

笑顔があふれる運動会

温かな応援をありがとうございました！

5月25日（土曜日）に運動会が行われました。徒競走、僥倖種目、岩っ子リレー、一輪車演技での子供たちの様子はいかがでしたか。子供たちは、保護者や御家族、地域の方々に、自分たちの練習の成果を見てもらおうと、これまで一生懸命練習に取り組んできました。結果はわずかの点差で白組が優勝、赤組が準優勝となりました。結果が分かった瞬間、全身で喜びを表す白組と、悔しい表情の赤組となりましたが、教室で担任からの言葉掛けにより、下校時にはどの子も達成感にあふれ、「笑顔いっぱい」の表情をしていた姿が大変印象的でした。

とりわけ「一輪車演技」は十年以上続く本校伝統の種目で、他校には見られない自慢の種目です。この演技には「みんなで最高の演技をしたい」という共通の目標を土台に、互いの思いを尊重しつつ、折り合いをつけて友達と関わる大切さ、互いに励まし合う学級風土の醸成など、多くの価値や学びがあります。ともすると技の完成度や技術の向上だけに目が行きがちですが、当日までの取組を通して、心の育ちが大きかったです。子供同士、教師と子供との間には強い信頼関係が結ばれ、本番で見られたように、実に堂々とした演技に表れました。

同時に、下級生の演技を見て、小さい頃の自分を思い出す上級生。上級生の演技を見て、「自分もこうなりたい」とあこがれの気持ちを持つ下級生。すてきな演技について拍手を送ったり感動したりするなど、見る側にも学びがある演技です。

本当に暑い一日となりましたが、保護者、地域の皆様方のおかげで笑顔がいっぱいあふれる運動会とすることができました。また、温かな声援、種目への参加、ボランティアなど多くの面で御支援をいただき、ありがとうございました。



気持ちが高まる開会式



団結力や勢いが伝わってきた応援合戦



勝負が最後までわからない僥倖種目でした



左：圧巻の演技だった6年生の演技 右：本番で成功し、喜びの歓声をあげた3年生

白熱の争いだった玉入れ



保護者も中学生も参加して接戦となった綱引き

棒と勝利を引き寄せます



全身で喜びを表した瞬間



緊張のリレーのスタート



互いの健闘をたたえ合う

開会式 めあての発表

私が運動会で頑張りたいことは一輪車演技です。今までクラスのみんなで練習して来ました。その中でもシンデレラループを頑張りたいです。練習ではあまり成功したことがないので、頑張りたいです。今日は、みんなの心を一つにして完ぺきな一輪車演技にしたいです。 (3年 大西 莉愛さん)

運動会でぼくが頑張りたいことは、二つあります。一つは、一輪車演技です。5年生全員で練習した成果を発揮して成功させたいです。もう一つは、応援を頑張ることです。他のみんなが頑張れるように大きな声で応援したいです。今日はみんなで楽しい運動会にしたいです。 (5年 増田 桜也さん)



閉会式 感想発表

ぼくが運動会で一番楽しかったことは、リレーです。練習のときは2位だったので、本番では1位を取れるかなと思いましたが、結果は予想外で本番では3位でした。でも、順位決定戦の中では1位が取れたのでよかったです。みんなでバトンをつなげられてよかったです。 (4年 岡 龍乃祐さん)

私が心に残ったことは、みんなで協力した一輪車演技です。本当は学級みんなで演技したかったけれど、具合がよくない友達もいて、全員でできませんでした。だから休んだ人の分まで私たちが頑張りました。最後の運動会で負けてしまったけれど悔いのない運動会になりました。 (6年 加藤 彩花さん)

